



Let's soroban

そろばんは頭をよくする魔法の道具。

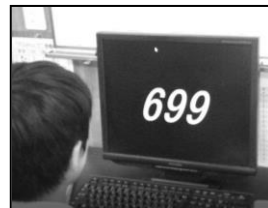
新元号になって1か月が過ぎました…。当初は違和感があった「令和」もだんだんと馴染んできましたね。

さて、小学校高学年・中学生の皆さんは部活動が始まる時期ですが、先月号でもお伝えした通りこの時期は授業時間を**19時30分まで延長**します(夏休みまでの期間のみ)。これからは暑さも増してくるし体力的に大変だと思いますが、ガンバって練習に臨んでいきましょう～。努力はかならず報われますよ！

☆☆ フラッシュ暗算 ☆☆☆

暗算6級に入り少しずつ慣れてきたら、フラッシュ暗算を始めます。

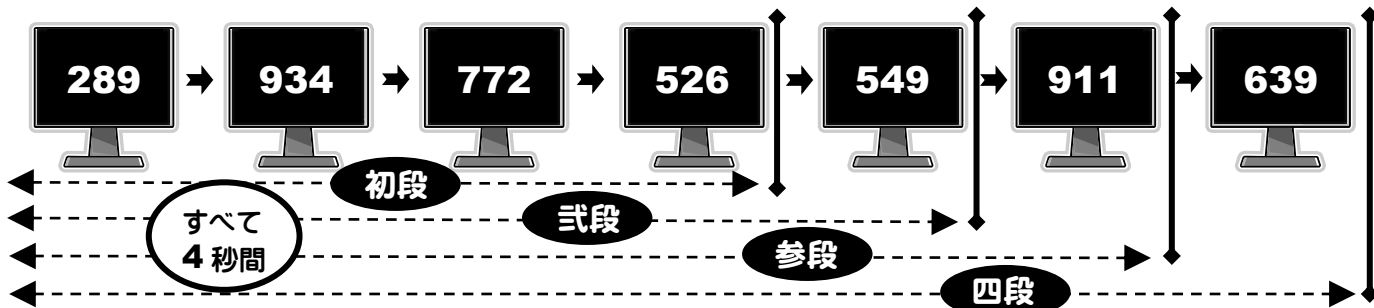
各メディアでも目にする機会がありますので、どういものかは皆さんご存知だと思いますがパソコン画面に次々と表示される数字の足し算を「そろばん式暗算」を使って計算していくものです。



紙の上に書かれた暗算とは異なり、もしも途中で数字を見落としてしまったり、あるいは計算を間違ってしまうと、パソコンは待ってくれませんし、やり直しが一切できません。それだけに通常の暗算よりも高いレベルの集中力と計算力が要求されます。

練習を始めた直後は戸惑いながらフラッシュ暗算に取り組んでいる生徒たちも、ソロバンで培った能力を駆使し、全神経を集中して練習していけば、多くの生徒は少しずつその能力をアップしていきます。高学年にもなると、初段以上の3ケタの暗算に合格する生徒たちも出てきますし、未経験者からすると「とても信じられない！」と思われることでしょう。

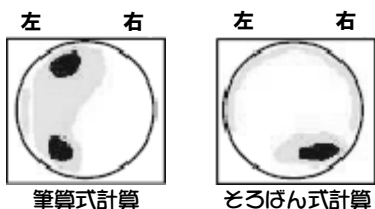
*ちなみに、当教室の**段位**の合格基準は…時間は4秒間、桁数は3ケタ、口数は段位によって異なります。初段-4口、二段-5口、参段-6口、四段-7口と、表示される数字の口数が順次増えていく形式です。



そろばん式暗算

そろばん式暗算では、そろばんの玉をイメージして頭の中に浮かべ、それを実際のそろばんと同じように動かして計算をします。

このときにそろばんの玉をイメージする場所は、右脳の後頭部のところにつくられます。この場所は、子供の時にしかつくることができませんが、1度できると、その場所は生涯にわたって存在していつでも使うことができると言われています。



フラッシュ暗算のルール

毎回、5問×3セットの15問に挑戦します。

15問中、10問以上が正解できれば合格となり、合格が5回連続するとテストを受けられます。

級・段	けた	口数	秒	認定料
4段	3	7	4	500円
3段	3	6	4	
2段	3	5	4	
初段	3	4	4	
1級	2	10	8	300円
2級	2	8	7	
3級	2	6	5	
4級	2	5	4	200円
5級	2	4	4	
6級	2	3	3	100円
7級	2	2	2	
8級	1	7	7	
9級	1	5	5	
10級	1	4	4	

